



共通教育科

浅川 泰宏 准教授

【研究分野】 民俗学、文化人類学、宗教学
 【キーワード】 巡礼、聖地、民俗、ツーリズム、文化資源・歴史遺産
 【URL】 <https://researchmap.jp/taihan>



巡りが生み出す地域と文化

研究概要

「なぜ我々は日常と異なる時間や場を必要とするのか、そこにどのような社会的な意味が込められているのか」という問題意識から、巡礼に関わるヒト、モノ、ミチ、トキを研究しています。近年は御開帳などの期間限定の祝祭や、コロナ禍でのリモート参拝の調査を進めています。各地のフィールドワークで得た知見を教育に結びつけ、地域に着目したモノづくりや提案型の課題作成に、学生と一緒に取り組んでいます。

研究紹介

- ① **四国遍路「接待」に関する研究**
- 巡礼者に「巡られる」体験が作り上げた地域文化「接待」の構造を、聞き取り調査や史料分析から明らかにしました。
- ② **巡礼を活用したツーリズムや地域づくりに関する研究**
- 巡礼古道や接待をツーリズムや地域づくりに活用する様々な活動を分析しました。
- ③ **巡礼の「聖年」に関する研究**
- 四国霊場開創1200年(2014)や坂東丑年疫病退散祈願巡礼(2021)など、期間限定の巡礼の祝祭を研究しました。
- ④ **オンライン化がもたらす巡礼文化の変容に関する研究**
- リモート参拝など新しい巡礼文化の登場に注目しています。
- ⑤ **民俗学的視点からの地域再発見をテーマとする弁当の開発**
- イオンせんげん台店から特定講座教育研究費を受託し、学生と共同で地域の食の民俗を盛り込んだ弁当を提案しました。



講座テーマ紹介

巡礼・聖地、民俗宗教、年中行事、旅、食文化などに関する一般／子供向けの講座。

【主なテーマ】

- 「埼玉の札所巡り一坂東三十三観音と秩父三十四観音」(彩の国いきがい大学, 2017)
- 「四国遍路の弘法大師信仰一同行二人の思想と接待の文化について」(一般財団法人マルチメディア振興センター「eビジネス異業種交流会」, 2018)
- 「たびとぼうけんのヒミツ」(東宏行教授と共同)(りそなキッズアカデミー, 2018)
- 「子ども民俗学—むかしの人が考えた世界のすがた」(埼玉県立大学公開講座, 2019)
- 「四国遍路」(かわさき市民アカデミー『聖地巡礼』, 2021)

アピールポイントなど

- 研究と教育の接続にも力を入れています。教養科目「民俗学」では、毎年学生と一緒に各地の民俗を取り入れた七夕飾りを製作しています。「教養ゼミナール」では、歴史遺産や文化資源を活用した地域巡りや、地域を象徴する食の提案などに取り組んでいます。
- 文化や民俗に着目し、地域社会の新たな価値を発見することで、人々の生活を豊かにする研究開発ができればと考えています。